

厚生労働省 令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業
一時保護所職員に対して効果的な研修を行うための調査研究

子どもの集団生活のマネジメント

集団生活を通じた個々の子どものエンパワメントの例及び子ども集団の統制方法の考え方、特に施設内ルールの考え方について理解し、子どもにとって好ましい入所環境の整備に努めることができるようになることを目的とします。

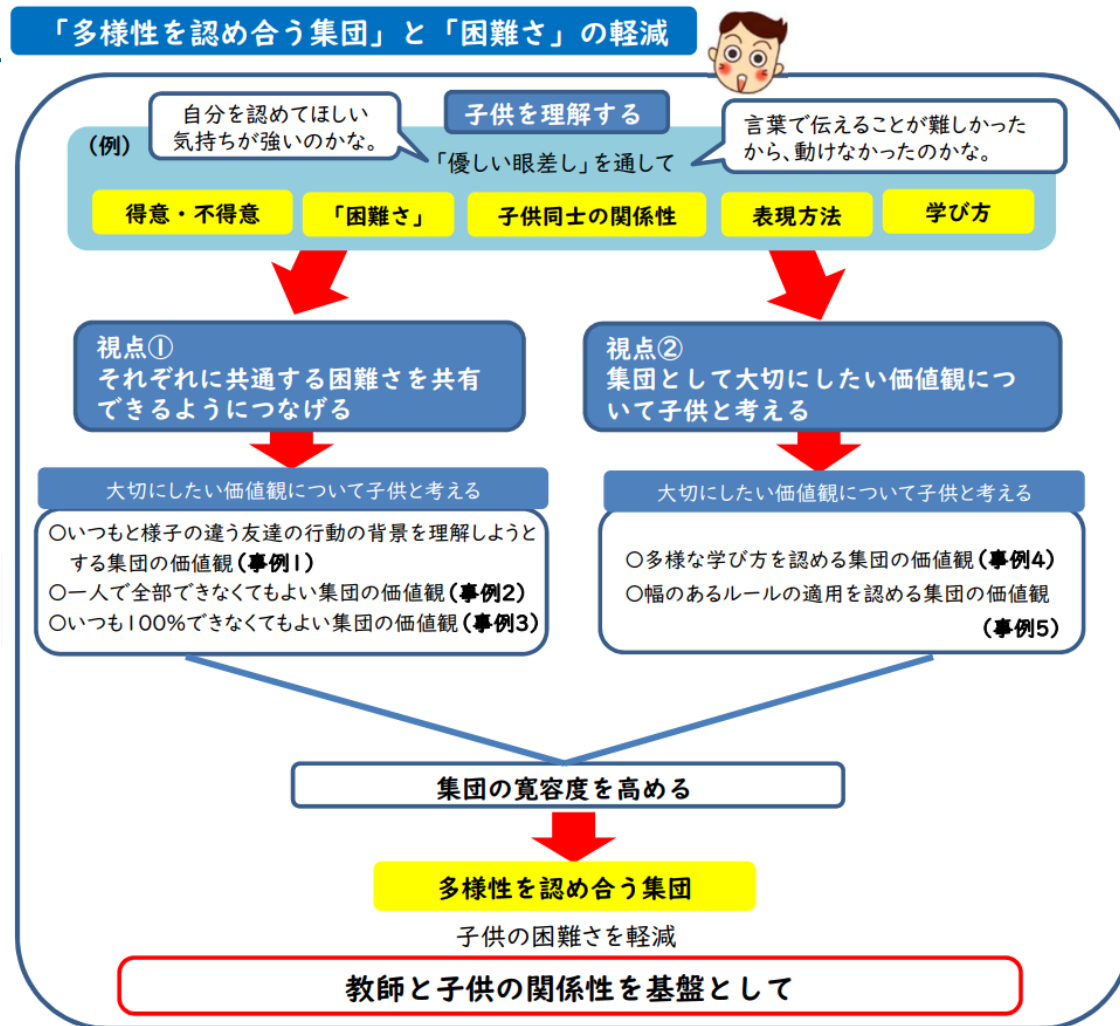
目次

1. 集団を通じた子どものエンパワメントの例	2
2. 子ども集団の統制方法	4
3. ルール・生活指導の考え方	6
4. (コラム) 混合処遇の是非	8

集団を通じた子どものエンパワメントの例

集団を通じた子どものエンパワメントの例

- 指導員が個々の子どもとの信頼関係を基盤として、例えば個々の子どもの「考え方の違い」「受け止め方の違い」「得意・不得意」等の困難さを子ども同士が理解・共有し、それを踏まえて皆とどのように関わることが必要か、大切にしたい価値観は何かといったことについて子どもとともに考え納得を積み重ねていくことで、互いに受容的・親和的に関わろうとする集団風土の醸成が見込まれます。
- そして、こうした集団風土を背景として「子どもの他者への思いやりの心（多様性を認める気持ち）」や、「一人で全部できなくても、人に頼ることのできるようになることも大切であるという価値観」を個々の子どもが獲得できるように支援します。



(出所) 岡山県総合教育センター「『-これからのインクルーシブ教育を見据えて-「子供とつながる・子供をつなげる」~多様性を認め合う集団作りを中心に~』(https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/706570_6341892_misc.pdf) (2022.03.24参照) p17より引用

(参考) 多様性を認めあう集団の例 (小学校を例に)

友達の苦手を受け入れる子どもたち

算数の時間。声の小さなAさんが発表する場面。少しざわついた教室の雰囲気、すっと静かになりました。消え入るような小さな声で「3cm3mmです」と答えました。周囲の児童は、「お～合っています。」「いいよ。」と声を上げます。誰も「聞こえません。」「声が小さいです。」という反応はありません。そこには、どうすれば小さな声を聞き取ることができるかを考える周囲の子どもたちの姿がありました。

友達の思いをくみ取る子どもたち

特別支援学級に在籍するBさんが、道徳の授業で発表する場面。一生懸命に発表しようしますが、うまく言葉になりません。すると、前の席の友達が、「それってこういうことかなあ。」と言いたかったことを予測して声をかける姿が見られました。Bさんは「うん。」と言い、納得して着席しました。担任は「Bさんの言いたいことはよく分かったよ。」と話し、声をかけた児童には、「友達の話をよく聞いてみんなに教えてくれたね。」と伝えました。

友達の思いをくみ取る子どもたち

気持ちが不安定になりやすく、特にグループでの学習が苦手なCさんが「山の学校」のスタンプを友達と計画する場面です。「ブラックボックスクイズ」を行う際の役割分担をすることになりました。誰が何を準備するかを話し合う時、友達が「Cさんは、工作が好きよね。休み時間も色々なものを作っているし。Cさんにブラックボックスづくりを任せてもいい？」と尋ねると「いいよ。」と快諾しました。作ったブラックボックスをいつも準備して「これ、作ったんよ。」と満面の笑みで練習に向かう姿が見られています。

できる方法を見つける子どもたち

算数の少人数指導の場面。算数の学習については自身のないDさん。適応題も一つできたら「先生、できました。」と先生を呼び、答えが合っているのかを確認しようとしています。○をもらえると次の問題に進んでいます。続いて適応題の確認の時間。Dさんはすでに丸をもらっているのですが、なかなか発表ができずにいました。すると、ある児童から「先生、二人で発表だったらダメかな？ みんな発表すると思うよ。」という意見が出ました。「それ、いいね。」とみんなから声が上がると、Dさんは「それなら…」と挙手をし、ペアで協力して発表することができました。

友達に応じて声かけを考える子どもたち

社会科の時間に先生からワークシートが配られました。なかなか言葉で自分の意思を表現しにくいEさんにワークシートが配られていないことに気づいた友達が、「Eさん、配られていないと先生に言った方がいいよ。」と伝えました。Eさんは、驚いた表情を見せた後、頷きはしたのですが、先生に伝えられずにいました。すると、また別の友達が、黒板の下を指さしながら、「あそこ。」とワークシートのある場所を教えていました。Eさんは、ワークシートのある場所に視線を移すと、自分で立ち上がってワークシートを取りに着、素早く着席しました。

(出所) 岡山県総合教育センター「『一これからのインクルーシブ教育を見据えてー「子供とつながる・子供をつなげる」～多様性を認め合う集団作りを中心に～」
(https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/706570_6341892_misc.pdf)
(2022.03.24参照) p9

子ども集団の統制方法(1)

ルールの設定/共有

- 集団としての子どもの対応については、集団生活上のルールをしっかりと共有し、子ども自身と、その他の子どもが嫌な思いをしないことを大切にします。
- ルールの共有の際には、なぜそのルールが設定されているのか、そのルールがなかった場合一時保護所での生活がどのようなものになるか、どの様な困った状況が起こり得るかを子どもが納得するように丁寧に説明します。ルールブックを作成し、子どもの生活場所においておくのも一考です。
- ただし、忘れてはいけないのは、「ルールは守るためにある」のではなく、子どもが安心して生活するためにあることを忘れてはいけません。

指示・注意は コロコロ変えない

- 指示・注意がぶれる（さっきと言っていることが違う）と子どもから反感を買います。またそうしたことが積み重なると子どもに指示・注意を聞いてもらえなくなり、やがて統制が取れなくなるおそれがあります。その場その場の都合で適当な指示・注意を行わないように留意します。
- 指示・注意内容を変更する必要がある場合は、変更内容とその理由を丁寧に説明します。

生活上の注意の仕方

- 危険回避の必要がある場合（緊急時）を除いて断定・命令口調はNGです。反発・抵抗を招きます。
- 人は自分で納得し、理解することで行動が変化します。
- 「こうしたらどう？」「～かもしれないよ」という言い方をして、子どもみんなが伸び伸びでき、嫌な思いをすることが無いように配慮します。

子ども集団の統制方法(2)

「隠れたカリキュラム」を 自覚する

- 「隠れたカリキュラム」とは、指導者（指導員）が意図する・意図しないに関わらず、保護所内で生活を営む中で子どもたちが自ら学び取っていく全ての事柄のことを指します。
- マイナス面のことを取り上げれば、ある事象・行為について〇〇君に注意しないことで、当該事象・行為は許されるというメッセージを入所児童に伝えることになります。「その子どもに嫌われたくないから、ここで注意するのはやめておこう」という考えは控えた方が良いでしょう。
- また子どもは大人をよく見えています。大人がいつも子どもに言っていることと矛盾した行動をとれば簡単に信頼関係・援助関係が崩れ、ケア・指導が台無しになります。子どもの手本となるよう自身の言動・ふるまいを律することを心がけましょう。

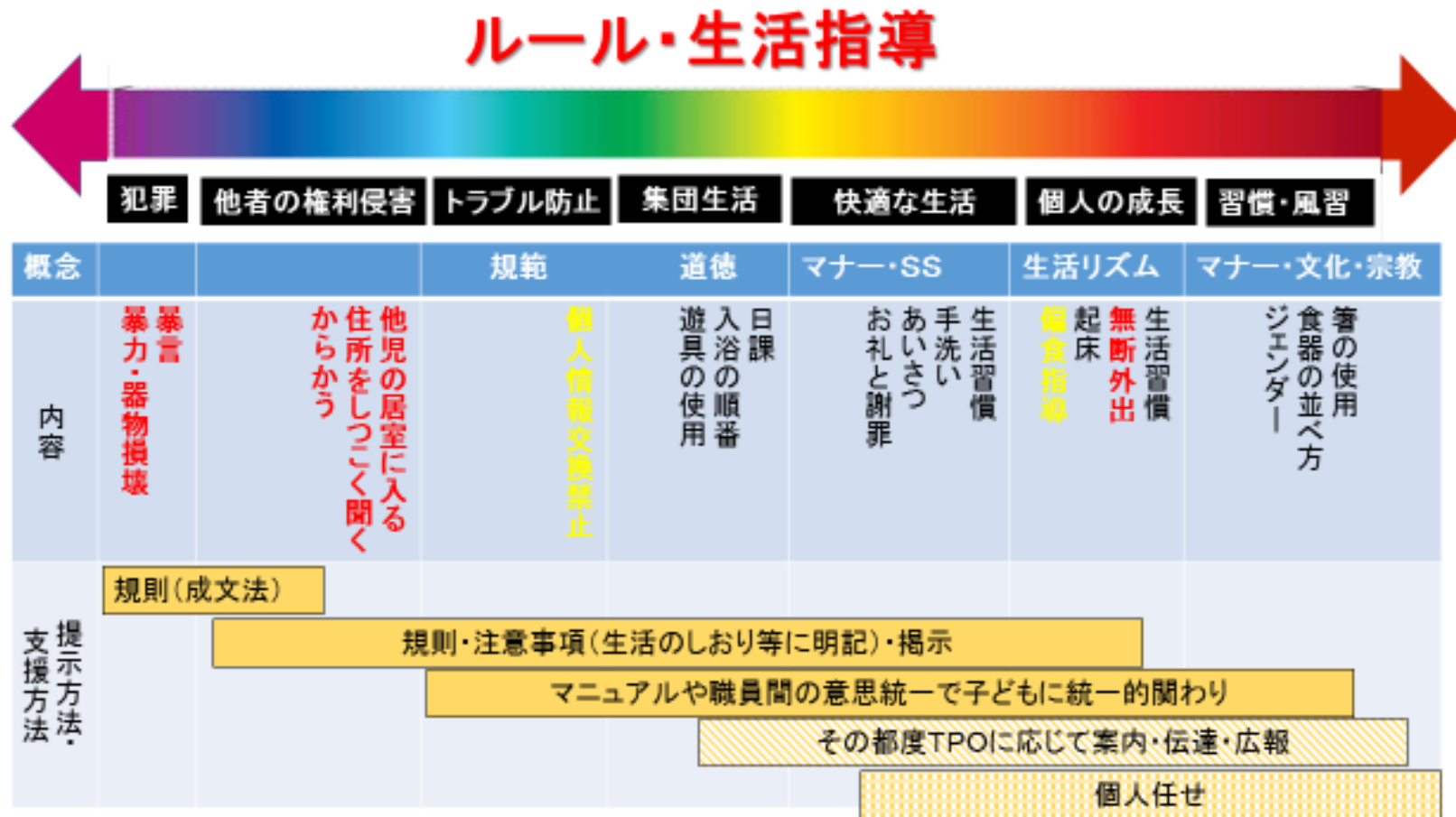
集団が荒れそうに なった/荒れたら

- 集団が荒れる兆候が見えてから、集団が荒れてしまうまではあっという間で、かつその集団が大きければ大きいほどトラブルが二次関数的に増加するため対処が難しいところですが、次のような対処を試みても一考です。
- 荒れる前の予防として、レクリエーションの時間で、何人かの子どものグループでSSTを実施し、子ども同士で相手の気持ちを汲み取り、適切な言葉を使って言葉のキャッチボールをする練習をします。その中で「〇〇ということをされたらどう思うだろうか、△△かもしれないよ」という問いかけをしながら子どもの中で気づきが得られるように誘導します。
- 荒れたら、荒れの中心メンバーを分断し、個別指導を実施します。

ルール・生活指導の考え方

- ルールは「犯罪を防止する」ことを目的として設定されているものから、「一時保護所に入所している子ども皆が気持ちよく生活をする」ことを目的として設定されているものが存在しているはずです。
- ルールはこれらの目的を達成するために設定されている「手段」であり、ルールを守ることそれ自体は「目的」ではないことに留意しましょう。
- ルールを守るためのルールを作るといった状況は本末転倒です。

茂木作成



(出所) 江戸川区児童相談所 一時保護課長 茂木健司氏作成

ルールを守ってもらうにはどうすればよいか

- ルールは守るためのものではありませんが、そのルールが達成しようとする目的を実現するためには守ってもらいたいものです。
- 設定したルールがあまりにも守ってもらえない場合は、そのルール自体を、ルールが達成しようとする目的に照らして設定しなおすことを検討するのも一考です。

例：ペットの散歩中のトイレに関しての町内会ルール

ルールの目的：ペットのし尿放置による町内衛生環境の悪化を防ぐ

×ルール：トイレは散歩の前に済ませましょう

→ルール通りの行動ができればルールの目的は達成できるが、
そもそもルールを守ることが到底無理である。

○ルール：ペットのフンは飼い主が持ち帰りましょう

→ルールどおりの行動を行うことに無理はなく、ルールの
目的達成も可能である

混合処遇の是非

- 混合処遇については、一時保護所に入所する子どもについてその年齢、性別、一時保護を要する背景も虐待や非行等様々であることから、子ども同士の暴力、いじめ、性的接触など、子どもの健全な発達を阻害する事態が発生するおそれがあるとの視点から好ましくないとする論があります。
- 一方で、混合処遇の弊害をことさらに取り上げると分類処遇を実施するという議論に進み、かえって「個々の実情に応じた支援」といった視点から遠ざかりかねないリスクもあります。
- また、混合処遇の弊害については立証されているわけではなく、混合処遇のメリットを述べる実践家や研究者も存在しています。

参考文献

- 岡山県総合教育センター「『ーこれからのインクルーシブ教育を見据えてー「子供とつながる・子供をつなげる」～多様性を認め合う集団作りを中心に～』
(https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/706570_6341892_misc.pdf)
(2022.03.24参照)
- 小松原明哲：安全人間工学の理論と技術 ヒューマンエラーの防止と現場力の向上. 丸善出版.
2016
- 島村華子：モンテッソーリ教育・レッジョ・エミリア教育を知り尽くしたオックスフォード児童発達学博士が語る自分でできる子に育つほめ方 叱り方, ディスカバートゥエンティワン. 2020
- 西野宏明：新任3年目までに必ず身に付けたい！子どもがサッと動く統率のワザ68. 明治図書.
2016